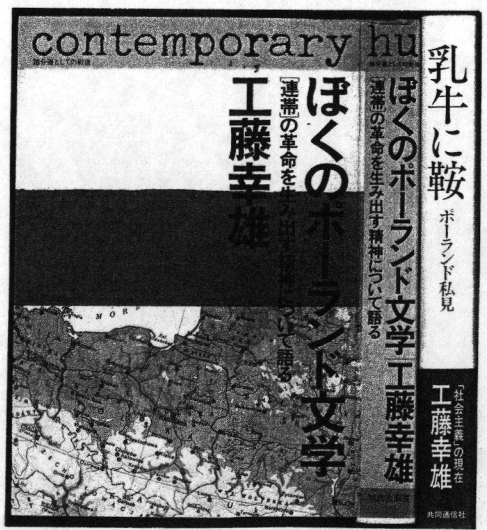


工藤幸雄 (工藤) ロシア・ポーランド文學者。大正十四年二月二十日大連生れ(一九三一年)。筆名くどう・ゆきお、仲谷鴻介。東京大學文學部佛文科卒。共同通信社外信部記者、ワルシヤワ大學日本學科講師、多摩美術大學教授歴任。

譯書『パステルナーク傳』(昭和二十四年九月十五日光文社)、エフトウシエンコ著『早すぎる自叙伝』(昭和二十八年十月五日新潮社)、アレクサンダー・ドルガン著『收容所群島のアメリカ人』(昭和五十年十月二十五日ニ堂書房)、同『コンビエト強制收容所凍った大地から』(昭和五十二年十一月二十日ニ堂書房)、サイザック・B・シンガー作『やぎと少年』(昭和五十四年十一月二十六日岩波書店「岩波の愛蔵版」)、同『お話を運んだ馬』(昭和五十六年九月二十日岩波書店「岩波少年文庫」)、同『まぬけ坊ワルシヤワ旅行』(昭和五十八年五月二十七日岩波書店「岩波少年文庫」)、リシヤルド・カプチンスキ著『帝國ーロシア・辺境への旅』(平成六年十月二十日新潮社)等。

著書『ワルシヤワの七年』(昭和五十二年七月十五日新潮社「新潮選書」)、『ぼくのポーランド文學』「連帯」の革命を生み出す精神(ついでに語る) (昭和五十六年十一月十日現代企画室「踏分道とここの戦後」)、『共産國への旅のこゝろ暮らさず方法』(J・フェドロヴァイツキ共著、昭和五十八年十一月二十日新潮



社「新潮選書」(一) 小説の鞍馬(一) トラムダ秘見(一) 昭和二十年一月

一 山崎謙三(一) 等。